2023／11／20

＜６人制小学生バレーボールコート設営＞　　競技委員長　永田　和昭

＊コート設営に指導者・保護者等混在して実施する場合は、作業前に設営班全体で事前ミーティングを実施し、個人の判断によるバラツキを防ぐこと！

１．　マスキングテープ（消しテープ）処置

⑴　マスキングテープ（以下消しテープ）を貼る位置を会場競技責任者と打ち合わせし、決定する　コートラインと交差する可能性のある部分は、コートラインを貼る前に先行して消しテープを貼る
（マスキングテープ後で貼ると、コートラインと交差部分を切る必要があり、ゲーム中に剥がれ易くなることを防ぐ為）

⑵　ラインテープを貼りたい付近のペイントされた紛らわしいライン（特に白系ペイント）は、ライン貼付箇所から50cm 程度を目隠しする

⑶　支柱立て穴の金属のふた、床の割れ目やくぼみなど危険個所をふさぐ
（特にコート内の塞いだ部分については、消しテープの角をカットする：剥がれ防止）

⑷　消しテープを張った後に気泡が残った場合は、剥がれ易くなる為、カッターの先でつぶして床にしっかり貼る

２．　ラインテープを貼る

⑴　２人組で作業するが、テープの端を持つ側で、スタートの向きがゆがんでいると上手く貼れないので、端を押さえる側の人は貼りたい方向にまっすぐ置くようにする

⑵　コートの横ラインから先に貼り、すべての横のラインを貼ったのち縦のラインを貼る
（アタックライン付近では横ラインが上の場合　剥がれ易くなる為）
・エンドとサイドのラインは採寸（8m×16m）の内側
・アタックラインは採寸（センターライン中央から2.7m）のネット寄りに貼る

⑶　アタックラインの延長に貼る破線は４本で、サイドライン外側の縁から1.4mとする
サブスティテューション（選手交代）ゾーン及び、フロントゾーンとバックゾーンを区別するためのラインで、正式には両側に作成することが正しいが、福岡県小連ではファーストレフェリー側は作成しない運用としている。

⑷　ラインテープを張った後に気泡が残った場合は、剥がれ易くなる為、カッターの先でつぶして床にしっかり貼る

３．　フリーゾーン（選手の競技可能エリア）を確保する。
コート周囲、最低３m＊×３mのフリーゾーンを確保する
サイド側：複数コート設営の場合は全てのコート均等になるよう配慮する
エンド側：３m～6.5mの範囲で、後方が広い場合は防球盾で区切る

４．　ウォームアップゾーンを作成する
３×３m以内にて会場の規模を考慮して設営するが、フリーゾーン内に入らないように考慮することが望ましい。フリーゾーン後方に作成の場合、エンドライン後方が広く取られている場合は、選手交代の控え選手の遅れにつながるので注意 。
フリーゾーン後方へ作成できない場合は、ベンチ斜め後方でも可